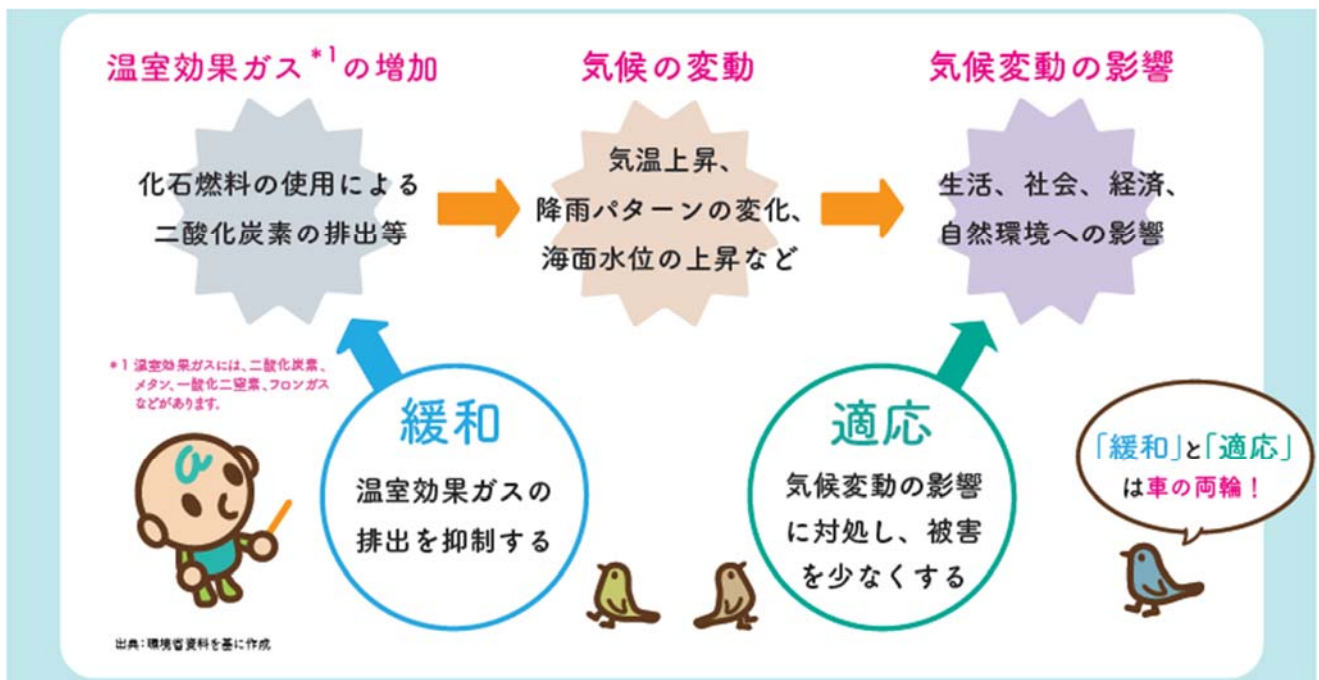


いしかわ気候変動適応センター通信 第4号

気候変動対策における、「緩和」と「適応」について知ろう！

私たちにとって身近な気候変動対策として、例えば、省エネ家電やエコカーへの買い替え、また太陽光をはじめとした再生可能エネルギーの活用などが思い浮かぶのではないのでしょうか。これらの対策は、これまで広く知られてきた、温室効果ガスを削減するための「緩和策」です。

これからは気候変動対策として、この「緩和策」だけでなく、既に起こっている、もしくは今後起こりうる、気候変動による影響への「適応策」についても、推進していく必要があります。



出展：気候変動適応情報プラットフォーム

「適応策」について知ろう！

どのような影響に対する適応策があるのか、いくつかご紹介します。

農林水産業	自然災害	健康
<p><影響> 農作物の品質・収量低下</p> <p><適応策> 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培</p>	<p><影響> 土砂災害・浸水被害の増加</p> <p><適応策> ハザードマップの確認、避難経路の確認</p>	<p><影響> 熱中症リスクの増加</p> <p><適応策> こまめな水分補給、エアコンの適切な使用</p>

他にも水環境・水資源、自然生態系、産業・経済活動、国民生活・都市生活など、様々な分野において、気候変動による影響への適応策が検討されています。

<石川県気候変動適応センター>

事務局：石川県生活環境部温暖化・里山対策室

電話：076-225-1462 FAX：076-225-1479 メール：ontai@pref.ishikawa.lg.jp

HP：https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/tekiou/letter/index.html